

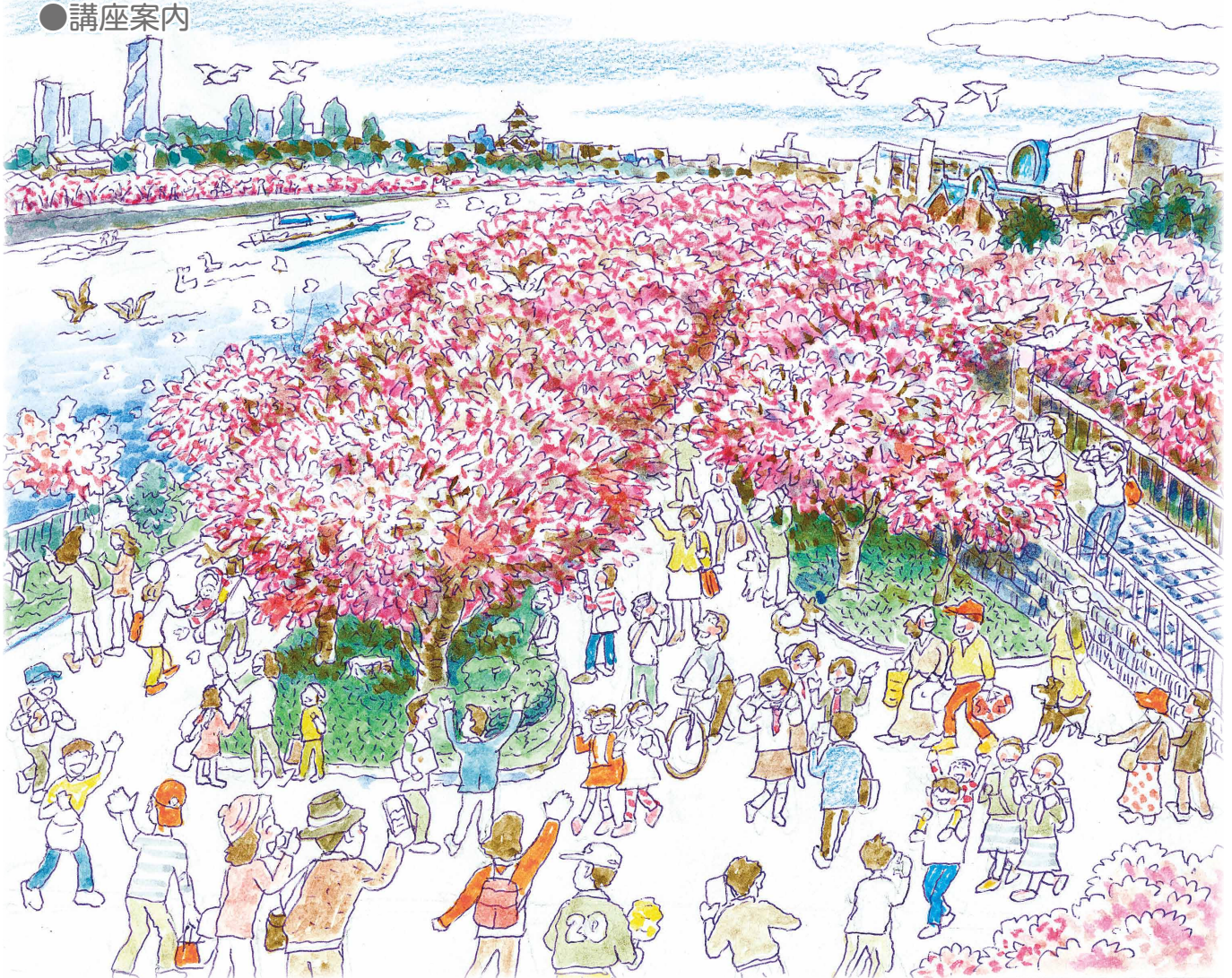
# ウェルおおさか

vol.125 2020.4 隔月発行(偶数月1日)

特集

## パラスポーツを応援しよう！ ～みんなの夢をいっしょに～

- 令和2(2020)年度 研修計画一覧
- 図書・資料閲覧室からのお知らせ
- 講座案内





# パラスポーツを応援しよう！

## ～みんなの夢をいっしょに～

パラリンピックは、世界最高峰の障がい者スポーツ大会です。世界中から障がいのあるアスリートたちが集まり、自分の限界に挑みます。困難があってもあきらめず、強い意志でチャレンジしている姿は、人の心を揺さぶり、挑戦へと駆り立てます。また、選手の戦う姿と同時に、パラリンピックが体現する多様性、それぞれの個性や能力を存分に発揮できる世界観にも、拍手をおくりたいくなります。

東京大会の開催期間は、8月25日～9月6日。オリンピックを超える驚きと感動を期待し、パラアスリートたちと一緒に夢をかなえましょう。



### 誰もが同じ スタートラインに

パラリンピックは、障がいのあるトップアスリートが出場できるスポーツの祭典です。4年に1度、オリンピック競技大会の終了後に同じ場所で開催されています。

前回、2016年に開催されたリオ大会には、159の国と地域から約4300人が参加し、テレビ視聴者は、過去最多41億人を超えました。また、リオ大会で行われた22競技・528種目のうち、世界新記録220、パラリンピック新記録は432にのぼり、競技レベルも向上しています。東京大会では、新競技にバドミントンとテコンドーが採用され、22競技540種目が開催される予定です。

それぞれの競技には、障がいの種類

や程度によって、だれもが同じスタートラインに立てるように考えられたクラス分けやルールがあります。

パラアスリートたちの身体能力の高さ、卓越したテクニック、目が離せない試合展開など、その迫力はオリンピックを超えるかもしれません。

### 支える力で広がっていく

パラリンピックに対する企業による資金面や人材面などのサポート体制は、パラリンピック東京大会開催決定を契機に、格段によくなっています。資金面、遠征費などで選手を支えるスポンサー企業、競技器具の開発でサポートする企業など、多くは、CSR（社会貢献）活動の一環として、障がい者スポーツの支援を通して、共生社会の実現に向けて取り組んでいます。

企業だけでなく、会場案内、競技運営のサポート、移動サポートや外国語でのアテンドなど、何万人にも及ぶボランティアスタッフの存在が欠かせないことはいうまでもありません。

このように障がい者スポーツに関わる人や企業・団体が増えれば、その数だけ「障がい」について知る機会も広がり、真の意味で人にやさしい社会をつくることにつながっていくはずです。

自分なりの視点で観よう！

厳しい試練を自らに課し、トップクラスにたどり着いたパラアスリートたちの姿は、強く美しいだけでなく、私たちに大切な気づきをもたらしてくれます。

「すごい！」と言葉を忘れて感動することもあるでしょう。「気持ちの持ち次第で人間は変わるんだ」という自信が生まれることもあるでしょう。「スポーツを楽しむ、勝つために努力するのは同じ」と障がいのある選手を身近に感じるかもしれません。中には「世の中に存在するバリアを減らしたい」と社会への関心を深める人もいます。

私たちは「応援」というかたちでパラリンピックに参加することができます。お気に入りの選手やチームに注目するもよし、独自の競技器具やルールを事前に調べてから観るもよし。東京大会では、オリンピックだけでなく、自分なりの視点でパラリンピックを観戦・応援してはいかがでしょうか。



# 20年ぶりのメダルをめざします!

東京2020パラリンピック 柔道100キロ級内定選手 松本 義和さん

## どん底だった高校時代

### 一目が見えにくくなったのは?

高校生の時。緑内障で視力が落ち始め、部活でやっていたテニスが続けられなくなりました。授業中は、黒板の文字が見えず、試験では、問題が読めない。できないことが一つずつ増え、ちょうど舞台の幕が閉じていくような感じで視野が狭くなっていきました。親や先生、友達も目が悪いことは知っていましたが、ここまでひどいとは言えませんでした。いつも反抗的な態度でその場をごまかしながら、やっとの思いで高校を卒業。進学も就職もできない自分がみじめで、人生で最もつらい時期でした。

## 恩人は、 区役所の職員さん?!

### 一どん底から立ち直れたきっかけは?

19歳の時、区役所で紹介された視覚障がい者のための総合福祉施設「日本ライトハウス」に入所しました。自分で決めたことでしたが、家を出る日の朝まで泣いていたのを覚えています。世の中には視覚障がい者がいることも、盲学校があることも知っていましたが、そ

れまで「自分とは別世界」のことだと思っていました。目は悪くなるばかりでしたが、障がいを受け入れることができませんでした。

### 一ライトハウスでの寮生活はどうでしたか?

6人部屋で暮らす仲間には、全盲の人、弱視の人、先天性の人、中途の人など、差はあっても、自分と同じ障がいのある人たちばかり。そのなかで、僕は、はじめて障がいのことや、これまで抑えてきたものを全部、吐き出すことができました。障がいがあっても、社会で活躍している人がたくさんいる事も知りました。すると、今朝まで悔しくて泣いていたのに、生きる勇気がわいてきたのです。20歳で全盲になったときも、「落ちるところまで落ちたら、上がるしかない」と前を向くことができました。ライトハウスを紹介してくれた区役所の職員さんは、僕の人生を変えてくれた恩人です。

## 先輩がメダル! 僕も欲しい

### 一柔道を始められたのは?

1983年に大阪府立盲学校(現:大阪府立大阪南視覚支援学校)に入り、「できることはなんでもやろう」と、いろんなスポーツにチャレンジしました。体を鍛えるために始めたのが柔道でした。今は、身長186センチ、体重は100キロを超えていますが、当時は63キロでひよっひよっでした。盲学校の近畿大会では上位の成績をおさめたものの、86年の「第1回全日本視覚障害者柔道大会」では71キロ級で完敗。悔しくて、より



真剣に取り組むようになりました。

### 一パラリンピックをめざすようになったのは?

柔道は、88年のソウル大会からパラリンピックの正式種目となり、なんとその大会で盲学校の先輩が銀メダルを獲得したのです。「僕にもとれる」という思いが強くなり、そこからは明けても暮れても柔道ばかり。92年のバルセロナ大会、96年のアトランタ大会は惜しいところで、出場権を逃しましたが、あきらめずがんばって2000年のシドニー大会では、100キロ級で出場権を得、銅メダルを獲得できました。

## 「何でそんなに 元気なん?」

### 一パラリンピックで印象的なことは?

選手村で、視覚障がい以外の障がいのある人たちと初めて出会ったんです。車いすの選手から「松ちゃん(松本さん)、目が見えないのに何でそんなに元気なん?」「自分こそ足が動かへんのに元気やん」、生まれ変わっても障がいのある運命なら、2人とも「今の障がいもいいね」と話すこともありました。その時、僕らが元気な理由は、自分の力で苦難を乗り越えてきたからではないかと気がつきました。僕も、盲学校に通い資格を取得し、治療院を開設したり、パソコンのスキルも、自分でつかみ取ったりしました。もちろん、人の助けがあってこそ実現しました。選手村には、できないことを障がいのせいにして、できる他人





をねたんだりする人はどこにもいません。また、「この場所に来たい」という一心で稽古にはげみ、04年は、アテネ大会に出場し、初戦で負けたものの、選手団の騎手も務めることができました。

## 期待がかかる東京大会

### ープライベートは？

アテネ大会の年に、結婚して長女が生まれ、06年には長男が誕生しました。治療院の仕事も多忙で、生活は充実していました。しかし、柔道のほうは、08年北京、12年ロンドン、16年リオとパラリンピックへの出場を逃し続けています。

### ーいよいよ東京大会ですね

子どもたちも16歳と14歳。父親として

いいところをみせたくて、毎日、午後6時に仕事を終えて、府内数か所で、筋トレ、マラソン、稽古に励んでいます。稽古の後には、最寄り駅までたどり着けるか心配になるほど(笑)がんばっています。失敗もあれば、くじけそうなこともある毎日ですが、そんなときは「まっ、ええか」と言ってみます。すると、元気が出てくるんです。全盲58歳(8月)でパラの柔道に挑む人は、僕が初めて。それだけに周囲



の期待も相当なもの。みなさんの応援を力に変えて、東京大会では38年間の柔道人生をぶつけたいと思っています。

ーありがとうございます。



〈プロフィール〉1962年生。パラリンピックシドニー大会柔道男子100キロ級の銅メダリスト。得意技は、払い腰、大外刈り。高校在学時(1979年)に緑内障を発症し、20歳で全盲に。1983年大阪府立盲学校で柔道と出会う。鍼師、灸師、按摩マッサージ指圧師の国家試験に合格し、現在、アイワ松本治療院院長。仕事と両立しながら、柔道で後進の指導にもつとめている。

## 障がい者スポーツのことを知りたいなら…

障がいのある人がスポーツを通して、体力の維持・増進・身体機能の回復や向上を図るほか、精神的にも自信と勇気を養い、社会参加の機会を増やし、豊かな日常生活をおくれる施設として、市内には「長居障がい者スポーツセンター」と「舞洲障がい者スポーツセンター」があります。

### ◆長居障がい者スポーツセンター

#### 日本で最も歴史のあるスポーツ施設

昭和49(1974)年5月、日本で初めての障がい者のためのスポーツ施設として開館。「いつ一人で来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しむことができる」という基本方針のもと、これまで900万人以上が利用しています。

●クラブ活動／ボウリング、バドミントン、ビームライフル射撃、盲人マラソン、アーチェリー、ボッチャ、電動車椅子サッカー、車椅子ツインバスケットボール、少林寺拳法、柔道、水泳、ゴルフ

#### ●相談業務(事前予約制)

「スポーツ医事相談」では、整形外科や内科の担当医師が、スポーツをする際に抱える悩みや不安などに対して、医学的側面からアドバイスし、「リハビリ相談」では理学療法士が、ご自身のライフスタイルに応じて、当スポーツセンターの環境を利用したリハビリテーションや運動プログラムをアドバイスします。

#### 〈休館日〉

毎週水曜日及び第3木曜日(祝日の場合は開館)  
12月29日～翌年1月3日

### ●開館時間(長居・舞洲共通)

平日・土曜日 9:00～21:00(利用受付は20:30まで)  
日曜日・祝日 9:00～18:00(利用受付は17:30まで)  
※プール及びボウリング室以外は、12:15～13:00 まで閉室

### ◆舞洲障がい者スポーツセンター

#### 宿泊施設を備えた海に浮かぶスポーツ施設

平成9年10月に設立した障がい者専用のスポーツセンター。リハビリから競技スポーツまで幅広く利用されています。宿泊施設を完備しているので、遠方からの合宿等にも便利。「アミティ舞洲」の愛称で呼ばれ親しまれています。いつでも来館しても指導員や仲間がいて、安心していろいろなスポーツを楽しめます。



●クラブ活動／ゴルフ、卓球、ビームライフル、シットイングバレーボール、バスケットボール、フライングディスク、ふうせんバレーボール、剣道、ダンス、サッカー

#### ●スポーツ相談(事前予約制)

スポーツ指導員がスポーツを行う際の疑問や悩みを聞いたり、日常生活におけるスポーツ活動を継続できるよう、スポーツ場面のアドバイスをします。

#### 〈休館日〉

毎週火曜日及び第3月曜日(祝日の場合は開館)  
12月29日～翌年1月3日



# 全力を出しきる人間は、 障がいの有無に関係なく、すごい！

社会福祉法人大阪市障害者福祉・スポーツ協会  
障がい者スポーツ振興部スポーツ振興室 室長  
兼 大阪市長居障がい者スポーツセンター 館長 **小山 直幸さん**  
[国際親善車いすバスケットボール大阪大会実行委員会事務局長]



## 「オリ・パラ」セットで 注目され始めた

障がい者スポーツの国際大会は、以前から行われていましたが、「パラリンピック」として国内で大々的に取り上げられるようになったのは近年のことです。「パラリンピック」の名称が正式に使用されたのは、ソウル大会。ソウル大会では、オリンピックと同じ会場、場所でパラリンピックが開催されました。オリンピックと連動して広報されることで、パラリンピックも注目を集めてきたといえます。特に、今年は東京開催とあって、注目度は過去最高です。パラリンピックに関するセンターへのマスコミ取材も増えています。

## 障がいは「クラス」のひとつ

「障がい者のスポーツ」は、健常者が行っている「スポーツ」とは、違うものだと考えてしまいがちですが、「スポーツ」として、何ら変わりはありません。スポーツには、ジュニア、シニア、〇〇キロ級などのクラス分けがあります。「障がい」もそのひとつだと考えて良いと思います。パラリンピックが興味深いのは、多様な障がいの種類や障がいの状況によるクラス分けがあることです。

例えば、「パラ陸上」と一口にいても選手は、身体障がい（肢体・視覚・聴覚・・・別途デフリンピック大会）・知的障がい等と多様です。肢体不自由の選手だけを見ても脳性麻痺・義手や義足の装着、車椅子の利用等、様々です。さらに、障がいの状況によってクラス分けがされるので、100メートルの決勝だけで、男女合わせて30人近くの前メダリストが誕生します。

## 「やってみたい」 から始まった

競技別の全国組織、例えば水泳の組織はセンターのスポーツ教室から始まったと言えます。水泳をしたいという人が、センターの教室に参加して、終了後に指導員がバックアップし、「およう会」というクラブを作りました。面白くなって、記録を取り始めると今度は「競いたい」気持ちになる。そして記録会をする。それが近畿大会に、全国大会に発展していき、組織が出来ました。このクラブからは、世界大会やパラリンピックの前メダリストも生まれています。

もちろん、スポーツの魅力は、競うことだけではありません。リハビリや健康づくり、レクリエーション、ストレス発散、リフレッシュ、筋トレ、減量が目的の人もあります。また、「集う場」になっているケースもあります。センターでは、一人で来館されても指導員がお相手します。教室に入れば仲間ができます。ひとりでするのもいいですが、誰かが見てくれたら頑張れますし、仲間と一緒にする別の楽しみが生まれてきます。

## 障がいを「受容」して 次のステップに

センター利用者から東京大会代表に内定した選手もいますが、障がいを負ってから初めてスポーツをする人もいます。障がいがある人たち、特に中途障がいの人たちは、自身が「障がいがあること」を受け入れてからでないと、なかなか次のステップに進めません。中途視覚障がいなら「見えない・見えにくい」ことを受け入れてからが、スタートになり

ます。そういう意味では、語弊があるかもしれませんが、健常者よりも強いメンタルを持っている人が多いかもしれませんね。視覚障がいのバレーボールをしている80歳代の女性は、週に何度もトレーニングに来られます。健常者だっただけで元気な人は少ないと思います。

## パラリンピックの 楽しみかた

センターでは理解啓発事業で、障がい者スポーツの体験コーナーを開くことがあります。車いすバスケなら、競技用車いすに乗って試合を見ることをおすすめします。競技用車いすは、健常者でもなかなか上手に動かすことができません。それを、重度障がいのある人たちが自在に操り、ドリブル、パス、シュートなどスピーディに、ときには相手選手と、車いすをぶつけ合いながら、激しくプレーをしている姿は迫力があり、圧巻です。

「パラ水泳」にしても、足を切断しているのに、どうやって泳ぐんだろう。しかも、ものすごいスピードで。見ていて単純に「人間ってすごい」と思います。障がいの状況がわかればわかるほど、「パラスポーツ」の奥深さが味わえます。

スポーツをしたい、楽しみたい、競いたい、という気持ちや、人が全力でやりきる姿をみて感動することに、障がいの有無は関係ありません。

今年の夏、センターでは大きなテレビを据えて、パブリックビューイング的ななかたちで、東京大会を見ながら、皆さんと一緒に応援できる環境をと考えています。海外の選手も含めて「東京パラ」を一緒に応援しましょう。

# 令和2(2020)年度 大阪市社会福祉研修・情報センター 研修計画一覧

具体的な内容についてはホームページ（<http://www.wel-osaka.jp>）に掲載します。

## 【福祉従事者向け研修】

| 研修名                         |                           | 内容(ねらい)                                                                                    | 実施回数<br>(日数) | 定員        | 実施時期                        | 受講料              |
|-----------------------------|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|-----------|-----------------------------|------------------|
| キャリアパス対応<br>生涯研修課程          | 初任者コース                    | チームの一員としての基本を習得し、福祉職員としてのキャリアアップの方向を示唆する                                                   | 1回<br>(3日間)  | 50        | 8月7日<br>9月3・4日              | 9,000<br>+テキスト代  |
|                             | 中堅職員コース                   | 中堅職員としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する                                                   | 1回<br>(3日間)  | 50        | 6月24日<br>7月27・28日           | 9,000<br>+テキスト代  |
|                             | チームリーダーコース                | チームリーダー等の役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する                                                  | 1回<br>(3日間)  | 50        | 8月6日<br>9月8・17日             | 9,000<br>+テキスト代  |
|                             | 管理職員コース                   | 管理者としての役割を遂行するための基本を習得し、キャリアアップの方向を示唆する                                                    | 1回<br>(2日間)  | 30        | 11月6・20日                    | 6,000<br>+テキスト代  |
| よこい<br>と座談会                 | 新人職員フォローアップ研修・<br>よこいと座談会 | 新任職員を対象に仕事に関する課題や悩みの共有やキャリアアップなど他職種の<br>職員同士の情報交換や横のつながりづくりの促進を図る                          | 1回<br>(1日)   | 30        | 12月                         | 無料               |
|                             | 管理職員フォローアップ研修・<br>よこいと座談会 | 管理職員を対象に仕事に関する課題や悩みの共有やキャリアアップなど他職種の<br>職員同士の情報交換や横のつながりづくりの促進を図る                          | 1回<br>(1日)   | 30        | 2月                          | 無料               |
| 社会福祉の基本と対人援助                |                           | 福祉従事者に求められる基本視点、知識を学び、専門職としての役割行動を理解し、<br>利用者へのサービス向上を図る                                   | 1回<br>(2日間)  | 40        | 7月10日<br>8月21日              | 6,000            |
| スーパービジョン研修                  |                           | 社会福祉実践の質的向上および現場職員の資質向上をめざして、福祉の職場で<br>スーパービジョンを実践できる人材を養成する                               | 1回<br>(3日間)  | 36        | 9月～11月                      | 4,500            |
| メンタルヘルス<br>研修               | 一般職員対象                    | メンタル不全のメカニズムを理解し、良好な人間関係を保持しながら、業務を遂行する<br>知識や技術を学び、バーンアウト(燃え尽き症候群)を防ぐ                     | 1回<br>(1日)   | 50        | 未定                          | 1,500            |
|                             | 主任・リーダー職員対象               | 職場の要である主任・リーダーとして、職員が心身共に健康に働ける良い職場づくりを目指し、<br>職場システムの見直しや、職員のメンタルサポートなどについて学ぶ             | 1回<br>(1日)   | 50        | 10月13日                      | 3,000            |
|                             | 管理職員対象                    | 管理職としてバーンアウト(燃え尽き症候群)や離職者を減らす対策を考え、より良い福祉<br>サービスが提供できる組織とそのための労働環境を作るポイントについて学ぶ           | 1回<br>(1日)   | 50        | 11月                         | 1,500            |
| リスク<br>マネジメント研修             | 一般職員対象                    | リスクマネジメントとは何かを学び、リスクを生みださない考え方や記録の書き方、<br>コンプライアンス(法令遵守)など具体的に気をつける点について学ぶ                 | 1回<br>(1日)   | 50        | 6月29日                       | 3,000            |
|                             | 主任・リーダー職員対象               | リスクマネジメントやコンプライアンス(法令遵守)への気づきから、リスクを生まない<br>環境づくりを学ぶ                                       | 1回<br>(1日)   | 50        | 9月14日                       | 3,000            |
|                             | 管理職員対象                    | 管理職として組織内のリスクマネジメント、コンプライアンス(法令遵守)に関する制度の<br>運用と推進、対策を考え、より良い組織づくりと環境を作るポイントについて学ぶ         | 1回<br>(1日)   | 50        | 11月18日                      | 3,000            |
| 組織運営・管理研修                   | 労務管理研修                    | ①労働関係法令を正しく理解し、多様な雇用形態における社会保険・労働保険等の労務<br>手続きについて学ぶ ②ハラスメント関係法改正について学び、対応方法を考える           | 2回<br>(各1日)  | 50<br>100 | 7月13日<br>8月4日               | 各1,500           |
|                             | 財務管理研修                    | 社会福祉施設・事業所の会計担当者・管理者が「社会福祉法人会計基準(省令)」に<br>基づいた会計実務について知識や技術を習得する                           | 2回<br>(各1日)  | 50        | 10月                         | 各3,000           |
|                             | 職場研修推進研修                  | 職場研修の重要性を認識し、研修のニーズを把握することや、職場研修の仕組みを理解する                                                  | 1回<br>(1日)   | 30        | 未定                          | 1,500<br>+テキスト代  |
|                             | OJT推進研修                   | OJTの重要性と推進体制を理解し、効果的な指導方法を学ぶ                                                               | 1回<br>(2日間)  | 45        | 未定                          | 6,000<br>+テキスト代  |
|                             | 接遇マナー・電話応対                | 利用者・家族との信頼関係を築くのに必要な、好感をもたれる丁寧な応対を実践的に学ぶ                                                   | 1回<br>(1日)   | 80        | 5月18日                       | 3,000            |
|                             | 相談面接の技術                   | 援助関係の本質を知り、面接の技術を磨き、対人援助活動をよりスムーズに行うために、<br>的確で好感をもたれるスキルを演習を交えて実践的に学ぶ                     | 3回<br>(各1日)  | 各36       | 7月<br>7・14・21日              | 各3,000           |
|                             | コミュニケーション研修               | 利用者や職場の同僚・上司との関わり方、家族との関係など人との付き合い方の効果的な<br>方法・技術を楽しむ身につける                                 | 2回<br>(各1日)  | 各40       | 8月5・26日                     | 各3,000           |
|                             | ファシリテーション研修               | 場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を学ぶ                                                     | 1回<br>(1日)   | 60        | 6月3日                        | 3,000            |
|                             | プレゼンテーション研修               | プレゼンテーションの基礎を実践的に学ぶ                                                                        | 1回<br>(2日間)  | 30        | 12月                         | 6,000            |
|                             | 職場における人間関係研修              | 職場における人間関係をよくするためには、どのような取組みが必要か、また、人間関係を<br>取りづらい職員への理解と対応を学ぶことで、より働きやすい職場づくりを目指す         | 1回<br>(1日)   | 50        | 10月                         | 1,500            |
| 多職種の<br>連携と<br>地域協働<br>に向けて | 地域を基盤とした<br>ソーシャルワーク研修    | 地域支援機能と個別支援機能の強み・弱みの双方を理解し、両機能を連携させた、地域を<br>基盤としたソーシャルワークの理念を学ぶ                            | 1回<br>(2日間)  | 50        | 未定                          | 3,000            |
|                             | コミュニティソーシャルワーク<br>実践講座    | 地域を基盤としたソーシャルワークを実践するため、地域支援機能と個別支援機能の強み・弱み<br>の双方を理解し、地域福祉の理念とコミュニティワーク事例検討から、その具体的方法論を学ぶ | 1回<br>(5日間)  | 40        | 11月～2月                      | 7,500            |
|                             | 社会福祉施設職員の地域福祉<br>実践講座     | 地域の中で暮らす人の自立生活を支援するため、地域住民との協働を、福祉施設職員として、<br>いかに実践していくのかの具体的な手法を学ぶ                        | 1回<br>(5日間)  | 15        | 6月8・29日<br>7月9日<br>2月18・26日 | 15,000<br>+テキスト代 |
|                             | 相談支援機関の連携研修(新)            | 地域において、複合的な課題を抱えるなど、支援が困難な事例の対応について、関係の<br>相談支援機関がどのように連携して課題解決へと進めていくか、具体的な手法を学ぶ          | 1回<br>(1日)   | 84        | 未定                          | 無料               |
| 障がい福祉関係研修                   | 基礎研修 4本                   | (福祉障がい支援課と連携)<br>障がい児・者を取り巻く課題や現状とともに、支援のあり方について学ぶ                                         | 4回<br>(各1日)  | 各100      | 未定                          | 未定               |
|                             | 事業所別研修 2本                 |                                                                                            | 2回<br>(各1日)  | 各50       | 未定                          | 1,500            |
|                             | 専門研修 2本                   |                                                                                            | 2回<br>(各1日)  | 各50       | 未定                          | 1,500            |
|                             | 精神障がいのある人と<br>家族への支援実践講座  | 高齢者支援をする福祉従事者が、精神障がいのある人と家族を支援するため基本的な視点や<br>支援方法について学び、支援の実践力の向上を図る講座修了者への事例検討あり          | 1回<br>(2日間)  | 24        | 11月<br>12月                  | 未定               |

| 研修名                   |                                    | 内容(わらい)                                                                                                    | 実施回数<br>(日数)  | 定員   | 実施時期            | 受講料               |
|-----------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|------|-----------------|-------------------|
| 高齢者福祉関係研修             | 高齢者ケアに必要な医療知識                      | 高齢者の身体的な特徴や多くみられる症状や疾患などの基本的な医療知識を学び、利用者一人ひとりの疾患について理解を深め、病気に対しての知識をもったケアのあり方について考える                       | 1回<br>(1日)    | 50   | 1月              | 1,500             |
|                       | 未定                                 | 高齢者を取り巻く課題や現状とともに、支援のあり方について学ぶ                                                                             | 未定            | 未定   | 未定              | 未定                |
| 認知症介護実践研修             | 認知症介護基礎研修                          | 認知症に関する基礎的な知識を身につけ、基礎的なサービス提供に必要な技術とそれを実践する際の考え方を修得する                                                      | 3回<br>(各1日)   | 各96  | 5月2回<br>9月1回    | 各4,000<br>+テキスト代  |
|                       | 認知症介護実践者研修                         | 施設、在宅にかかわらず、認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得する                                                    | 5回<br>(各7日間)  | 各72  | 5月～11月          | 各30,000<br>+テキスト代 |
|                       | 認知症介護実践リーダー研修                      | ケアチームにおける指導的立場としてチーム員の知識・技術・態度を指導する能力及びチームリーダーとしてのチームマネジメント能力を修得する                                         | 2回<br>(各11日間) | 各30  | 8月～10月<br>1月～3月 | 各42,000<br>+テキスト代 |
|                       | 認知症介護実践リーダー研修<br>修了者フォローアップ研修      | リーダー研修修了者に対して、知識やスキルを高めるための専門的なフォローアップを行うことにより、大阪市全体の認知症ケア対応力の向上を目指す                                       | 2回<br>(各1日)   | 各50  | 未定              | 無料                |
|                       | 地域密着型サービス認知症<br>介護研修               | 地域密着型サービス事業所の開設者、管理者、計画作成担当者がそれぞれ必要な知識・技術を身につける                                                            | 2回<br>(各3コース) | 各90  | 7月～8月<br>1月～2月  | 各5,500            |
| 介護職員研修                | 介護職援助の基本編<br>「利用者の尊厳を考える」          | 利用者の尊厳について考えることにより、介護の質の向上を図る                                                                              | 1回<br>(1日)    | 30   | 10月             | 1,500             |
|                       | 介護職援助の基本編<br>「グリーフケア」              | 死別等の喪失や悲しみを経験した家族とその周囲の人への支援について学ぶ                                                                         | 1回<br>(1日)    | 30   | 2月              | 1,500             |
|                       | 介護職援助の技術編<br>「初任者向け介護技術」           | 介護職員経験3年未満の職員を対象に、介護に関する基本技術を学ぶ                                                                            | 1回<br>(3日間)   | 20   | 9月7日<br>8～9月    | 9,000             |
|                       | 介護職援助の技術編<br>「ステップアップ介護技術」         | 介護職員経験3年以上の中堅職員等を対象に、移動、排せつ、食事の介護に関する技術の応用を学ぶ                                                              | 1回<br>(3日間)   | 20   | 10月             | 9,000<br>+テキスト代   |
|                       | 介護職援助の技術編<br>「アクティビティ」             | 介護職員に求められる援助技術の基本を学び、レクリエーション技術を含むアクティビティを通した、QOLの向上方法を学ぶ                                                  | 1回<br>(1日)    | 30   | 9月              | 3,000             |
|                       | 介護サービス主任・リーダー研修<br>訪問介護サービス提供責任者研修 | 介護サービス主任・リーダーの役割やスタッフを支える視点、介護計画等について学ぶとともに、事例検討を通じて実践的な支援の力量を高める                                          | 1回<br>(2日間)   | 30   | 1～2月            | 6,000             |
|                       | 介護サービス主任・リーダー研修<br>介護主任リーダー研修      |                                                                                                            | 1回<br>(2日間)   | 30   | 1～2月            | 6,000             |
| 社会福祉施設職員人権研修          |                                    | 社会福祉施設の職員として人権問題を正しく理解し、人権意識の向上を図る                                                                         | 4回<br>(各1日)   | 各100 | 5月～1月           | 無料                |
| 福祉人材養成連絡協議会<br>会員提供講座 |                                    | 福祉人材の確保・養成を図り、福祉関係者の育成を目的に研修を実施する                                                                          | 1回<br>(1日間)   | 30   | 未定              | 無料                |
| 地域福祉推進者研修             | 地域福祉活動者講座                          | 地域福祉活動をすすめるにあたって活用できる様々な手法について学ぶ                                                                           | 1回<br>(3日)    | 50   | 未定              | 無料                |
|                       | 地域福祉推進リーダー養成塾                      | 福祉コミュニティづくりにおけるネットワークの構築とその運営方法を学び、地域福祉を推進する人材の養成を目指す                                                      | 1回<br>(3日)    | 30   | 未定              | 無料                |
| 福祉人材確保<br>支援事業        | 潜在的有資格者復職支援事業                      | 資格を有しながら、様々な理由で業務を離れている方を対象に、復職や就職につながる講座やイベントを実施する                                                        | 1回            | 20   | 未定              | 無料                |
|                       | 子育て世代等新たな担い手<br>福祉啓発事業             | 今まで福祉に接点のなかった世代が福祉の仕事に出会い、理解を深めることができる"きっかけ"づくりを行う。また、子育てしながら働きたいと考えている方に対して、福祉の仕事を選択肢に加えてもらえるよう、魅力をアピールする | 1回            | 20組  | 12月             | 無料                |
|                       | 求人・広報力 向上研修                        | 福祉への就職を希望する人に対して、効果的な求人情報の提供や発信の方法について学ぶ                                                                   | 1回<br>(1日)    | 40   | 7月              | 無料                |
|                       | 福祉人材受入・定着支援研修                      | 今年度は、施設、事業所において、外国人労働者を受け入れるにあたって、配慮するべきことについて学ぶ                                                           | 1回<br>(1日)    | 40   | 未定              | 無料                |

## 【市民向け講座】

| 講座名              |                            | 内容(わらい)                                                                           | 実施回数<br>(日数)   | 定員  | 実施時期         | 受講料  |
|------------------|----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|----------------|-----|--------------|------|
| 社会福祉講演会          |                            | 社会福祉の動向や福祉実践等をテーマとし、市民啓発及び福祉関係職員の資質向上を目的とする                                       | 3回<br>(各1日)    | 80  | 7月14日<br>未定  | 無料   |
| 「いきいきライフセミナー」(新) |                            | 市民がいきいきと、これからのライフステージを送っていくため役立つ内容をテーマに開催する                                       | 2回<br>(各1日)    | 80  | 未定           | 無料   |
| 社会福祉史の市民講座       |                            | 大阪には全国でも先駆的な福祉実践が多く存在する。それらに取り組んできた先達から学び、今後の大阪の福祉について考える機会を設ける                   | 3回<br>(各1日)    | 各30 | 未定           | 無料   |
| 市民のための認知症啓発事業    |                            | 認知症の方を地域でケアしていく意味と実際について学ぶ                                                        | 1回<br>(1日)     | 80  | 12月5日        | 無料   |
| 介護実習講座           | 入門コース                      | 介護を初めて行う方が、介護への認識・興味を深め、基本となる簡単な介護を体験する                                           | 6回<br>(各3日間)   | 各20 | 4月～12月       | 各500 |
|                  | ステップアップ(応用)<br>テーマ別コース     | 介護技術・知識の復習や、向上をめざしてテーマごとに学ぶ(テーマ:移動①、移動②、排泄・着脱介助、食事介助、応急手当(12月のみ)、口腔ケア(9月のみ)、認知症等) | 3回<br>(4～6テーマ) | 各20 | 6月・9月<br>12月 | 各100 |
|                  | 介護者のための介護食講座               | 介護者のために短時間で、簡単にできる調理法や介護食について学ぶ<br>※「高齢者にやさしい食事・介護職の調理法実演講座」として開催                 | 1回<br>(1日)     | 30  | 11月          | 無料   |
|                  | おさらい介護教室                   | 介護実習講座で学んだ内容を復習することで、介護技術や知識の向上を図る                                                | 1回<br>(1日)     | 20  | 12月5日        | 無料   |
|                  | 介護技術講座<br>～持ち上げない介護技術を学ぼう～ | 身体への負担を軽減する福祉用具を用いた、介護者のための持ち上げない介助方法を学ぶ                                          | 1回<br>(1日)     | 20  | 11月          | 100  |
| 自助具製作体験講座        |                            | 自助具への理解を深め、その普及と自助具製作に関わる人材育成を目的とする                                               | 3回<br>(1日)     | 各10 | 12月5日        | 材料代  |

※実施時期等については、変更する場合があります。



# 講座案内

## ●市民向け講座 市内在住、在勤、在学の方

| 講座名      |                        | 日 時                                                                            | 受講決定                     | 講 師                | 内 容                                                                                                        | その他                                                                                |
|----------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 【介護実習講座】 | 介護実習講座<br>入門コース        | 4月11・18・25日<br>いずれも土曜日<br>13:30～16:00<br>5月12・19・26日<br>いずれも火曜日<br>10:00～12:30 | 開講日の約1週間前に受講<br>証をお送りします | 専門学校講師、介護福祉<br>士など | 初めて介護をされる方に、家庭での介護<br>の知識や技術を体験いただき、介護への<br>関心や理解を深めるコースです。<br>【テーマ】<br>①移動、車いすの使い方<br>②衣服交換・食事介助<br>③清潔介護 | 定員:各テーマ20人<br>(先着順)<br>希望される方は、お問<br>合せてください<br>受講:500円(資料代)<br>受講当日に現金で申<br>し受けます |
|          | ステップアップ(応用)<br>テーマ別コース | ①6月 6 日(土)<br>②6月13日(土)<br>③6月16日(火)<br>④6月27日(土)<br>いずれも<br>10:00～13:00       |                          |                    | 入門コースを修了された方がテーマごと<br>に介護の知識・技術を深めるためのコース<br>です。受講するテーマは複数選択できます<br>①移動(1) ②移動(2)<br>③排泄、着脱介助 ④食事介助        | 定員:各テーマ20人<br>(先着順)<br>希望される方は、お問<br>合せてください<br>受講:100円(資料代)<br>受講当日に現金で申<br>し受けます |

### ■市民向け講座の申込み方法▼

ハガキ・FAX・メールに次の必要事項を記入して、お申し込みください(当センターホームページや電話での申込みも受け付けます)

〔必要事項〕①講座名 ②名前(ふりがな) ③郵便番号・住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥大阪市在住でない場合は、勤務先または学校名と所在地  
介護実習講座を申込みの方は⑦介護経験の有無(有の人は年数も記入)※介護職の方はお申込みいただけません。

## ●福祉従事者向け研修 申込み多数の場合は抽選です。締め切り後に、事業所あてに決定通知を送付します。

| 研修名                                                  |                       | 日 時                                                                                    | 受講対象者                                                                 | 講 師                              | 内 容                                                                                                                     | その他                                                                    |
|------------------------------------------------------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 【組織運営・管理研修】                                          | 接遇マナー・<br>電話応対研修      | 5月18日(月)<br>10:00～16:30                                                                | 大阪市内の社会福祉関係施設・事業所に勤務する方                                               | フェリアン<br>副所長 津村 薫                | 福祉・介護サービスの職場においても「顧客満足度」が求められているなか、接遇マナーや電話応対は利用者やその家族との信頼関係を築くうえで重要である。本研修はその接遇や電話応対の基本を理解するとともに、演習を通じての実践力の向上を図ります。   | 定員:80人(先着順)<br>締切:4月17日(金)<br>午後5時<br>受講料:3,000円                       |
|                                                      | ファシリテーション<br>研修       | 6月 3 日(水)<br>10:00～16:30                                                               |                                                                       |                                  | 意見が出ない、論点がずれる、いつも同じ人ばかりが発言する、何も決まらず時間だけ費やすというような非効率で成果のない会議を改善するため、場を活性化し、メンバーそれぞれの持ち味を活かすファシリテーションの技術を学ぶことを目的として実施します。 | 定員:60人<br>締切:5月7日(木)<br>午後5時<br>受講料:3,000円                             |
| 【多職種連携・地域協働・地域課題の発見と解決に向けて】<br>社会福祉施設職員の<br>地域福祉実践講座 |                       | ①6月 8 日(月)<br>②6月29日(月)<br>③7月 9 日(木)<br>④2月18日(木)<br>⑤2月26日(金)<br>いずれも<br>10:00～17:00 | 大阪市内の福祉施設・事業所・社会福祉協議会に勤務し地域福祉実践への意欲がある方                               | 大阪教育大学教育学部<br>教育協働学科<br>教授 新崎 国広 | 地域の中で暮らす人の自立生活を支援するため、地域住民との協働を、福祉施設職員として、いかに実践していくかの具体的手法を学びます。                                                        | 定員:15名<br>締切:5月8日(金)<br>午後5時<br>受講料:15,000円+<br>テキスト代<br>2,000円        |
| 【認知症介護研修】                                            | 第1回<br>認知症介護<br>基礎研修  | 5月12日(火)<br>10:30～18:00                                                                | 大阪市内の介護保険施設・事業所等に従事する方                                                | 大阪市認知症介護指導者                      | 認知症介護業務を遂行する上で基礎的な知識・技術とそれを実践する際の考え方を身につけ、チームアプローチに参画する一員として基礎的なサービス提供を行うことを目指します。                                      | 定員:96人<br>締切:4月15日(水)<br>午後5時<br>受講料:4,000円<br>(テキスト代込)<br>場所:福島区民センター |
|                                                      | 第2回<br>認知症介護<br>基礎研修  | 5月15日(金)<br>9:30～17:10                                                                 |                                                                       |                                  |                                                                                                                         | 定員:96人<br>締切:4月15日(水)<br>午後5時<br>受講料:4,000円<br>(テキスト代込)                |
|                                                      | 第1回<br>認知症介護<br>実践者研修 | 5月21・28日<br>6月4・11・18・25日<br>7月30日<br>いずれも木曜日                                          | 大阪市の介護保険施設・指定<br>居宅サービス事業所または、<br>地域密着型サービス等において<br>現に認知症介護業務に従事している方 | 大阪市認知症介護指導者                      | 講義:7日間 自施設実習:4週間<br>価値と倫理を根底に、対人援助の知識・技術について深く考え、施設・在宅にかかわらず認知症の原因疾患や容態に応じ、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応や技術を修得します。               | 定員:72人<br>締切:4月22日(水)<br>午後5時<br>受講料:30,000円+<br>研修用テキスト<br>3,300円     |
|                                                      | 第2回<br>認知症介護<br>実践者研修 | 5月22・29日<br>6月5・12・19・26日<br>7月31日<br>いずれも金曜日                                          |                                                                       |                                  |                                                                                                                         | 定員:72人<br>締切:4月22日(水)<br>午後5時<br>受講料:30,000円+<br>研修用テキスト<br>3,300円     |

※日程及び締切日は、主催者の都合で変更する場合があります。

●福祉従事者向け研修の申込み方法▶当センターのホームページから申込み、申込用紙をダウンロードしてFAXでお申込みください

上記の会場・申込・問合せ先

大阪市社会福祉研修・情報センター 〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8201

FAX06-4392-8272

🌐http://www.wel-osaka.jp

✉kensyu@shakyo-osaka.jp

## 第65回 大阪市立弘済院附属病院市民公開講座

テーマ／CT、MRIで見える脳の病気

日 程／5月28日(木)午後2時～午後3時

講 師／大阪市立弘済院附属病院 放射線科部長 坂本 真一

場 所／大阪市立弘済院附属病院寿楽館

(吹田市古江台6-2-1 大阪市立弘済院寿楽館)

申込先・問合せ先／

大阪市福祉局 弘済院附属病院

患者支援部・認知症疾患医療センター

〒565-0874 大阪府吹田市古江台6-2-1

☎06-6871-8013 FAX06-4863-5351



# 図書・資料閲覧室からのお知らせ

## 図書・DVD新着情報

### 図書紹介

#### 「ケアにいかにせよ」 高齢者の病氣と薬の知識

播本 高志 ほか 著 中央法規出版 2019年  
高齢者に多い病氣を取り上げ、病氣の説明、症状、観察とケアのポイント、予防と治療、よく使われる薬と服薬時の注意点をわかりやすく解説。在宅・施設問わず介護職に おすすめの一冊。



#### 「現場で役立つ 介護・福祉リーダーのためのチームマネジメント」

井上 由起子 ほか 著 中央法規出版 2019年  
高齢者や障がい者を支援する小規模チームをまとめ、支援の質を高めるためのメソッドが詰まった一冊。よいチームにするための基本的考え方、リーダー論、人材育成、チーム運営の4つの視点から解説。具体的な方法が学べる。



### DVD紹介

#### 「万引き家族」

ポニーキャニオン 120分 2019年  
生計を立てるため、家族ぐるみで軽犯罪を重ねていくうちに一層強く結ばれる一家。だがそれは許されない絆だった。家族を超えた真の「つながり」とは何かを問う衝撃の感動作。



#### 「ある認定こども園の挑戦Ⅲ 創る・織りなす保育 都市部での保育のこころみ」

岩波映像株式会社 88分 2018年  
委託事業としてスタートした区立こども園の園舎、園庭は決して広くない。限られたスペースの中での工夫、園庭での遊び、近隣の公園などへ散歩に行く姿は典型的な都市部のこども園や保育園の姿です。



大阪市社会福祉研修・情報センター2階にある「図書・資料閲覧室」では、社会福祉に関する書籍などを無料で貸し出しています（認知症、介護技術、手話のDVDや、福祉関係雑誌などが充実しています。）



●図書・約18,000冊 ●DVD・約940本 ●雑誌・約27種類

開室時間／月曜日～土曜日（祝日、年末年始は除く）午前9時30分～午後5時

貸出期間／2週間（図書・雑誌等は5冊、DVD・ビデオは5本まで）

利用資格／貸出し期間（2週間）内に、来館しての返却が可能な方

※郵送での返却はできません

※初回の登録時には、住所・名前などの証明ができる本人確認書類（免許証・保険証など）をご持参ください

問合せ先／☎06-4392-8233 お電話で図書・DVDの予約も承ります

## 大阪市社会福祉研究 第43号「研究論文」及び「実践報告」募集

年刊研究誌「大阪市社会福祉研究」では、市内で社会福祉の実践を行っている団体、グループ及び個人が自発的に研究活動を行い、その成果をまとめた「研究論文」及び「実践報告」を募集します。

### 【募集範囲】

- ①大阪市社会事業施設協議会に加盟する各施設の職員
  - ②大阪市社会福祉協議会及び各区社会福祉協議会の職員
  - ③大阪市福祉局・こども青少年局及び各区保健福祉センターの職員
  - ④大阪市内で社会福祉の実践を行っているグループ、個人などで大阪市社会福祉研修・情報センター所長が認める者
- ※いずれも、個人による研究のほか、グループによる共同研究・執筆も可とします。

### 【原稿内容】

- ①テーマは「社会福祉」の範囲とします。
- ②研究論文、研究ノート、実践報告等、福祉の実践のうえで生じる諸問題について、その解決のための示唆や方向づけを与えるものとします。
- ③原稿は、未公開（未発表）のものに限ります。

### 【原稿字数】

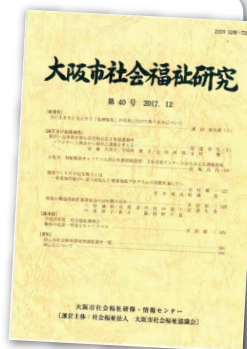
参考文献・図表等も含め、18,400字以内（パソコンで作成された原稿）とします。

### 【応募方法】

所定の応募用紙により、5月29日（金）までに下記センターへ「応募用紙」をお送りください。原稿の締め切りは7月20日（月）とし、提出論文から編集委員会にて掲載論文を選定し、掲載候補となったものについて、あらためて「執筆依頼」を送付します。

### 【その他】

- ①「大阪市社会福祉研究」への提出論文については、政治的・宗教的活動に使用しないこととします。
  - ②「大阪市社会福祉研究」に掲載された論文及び実践報告について審査し、優秀と認められた場合に、同心会より研究奨励賞、研究努力賞、会長賞が授与されます。
- ※「応募用紙」は、ホームページのお知らせ欄よりダウンロードできます。



●申込先・問合せ先●

大阪市社会福祉研修・情報センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20 ☎06-4392-8201 FAX06-4392-8272

✉kensyu@shakyo-osaka.jp ㊦http://www.wel-osaka.jp/



# 大人女子が注目! 40代からの骨事情

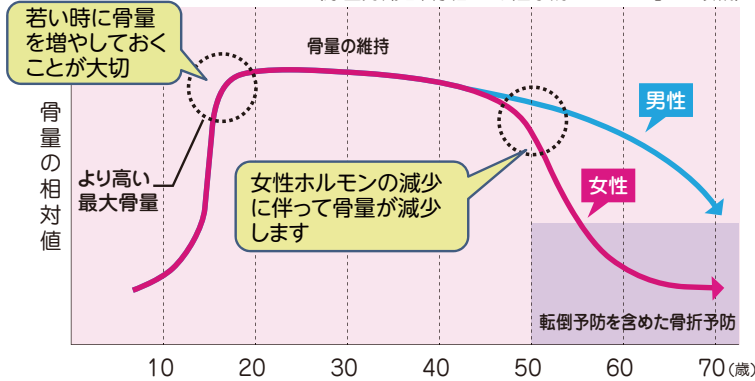
?



女性は閉経後急激に骨量が低下します!

●ライフステージごとの骨粗しょう症対策

(厚生労働省「骨粗しょう症予防マニュアル」より改編)



## 大阪市骨粗しょう症検診

**対 象**／18歳以上の大阪市民  
**方 法**／QUS法(超音波)  
**日 程**／「大阪市ホームページ」または下記まで  
**場 所**／各区保健福祉センター等  
**申 込**／予約制。下記までお電話ください。



詳細は  
こちら▶



裸足になって  
片足を  
入れるだけ

近くて便利 無料 夜間・休日も実施あり 結果はその場で

問い合わせ・申し込み先 各区保健福祉センターの電話番号は『4ケタ△△△△-9882』です

|       |      |       |      |       |      |       |      |
|-------|------|-------|------|-------|------|-------|------|
| 北 区   | 6313 | 都 島 区 | 6882 | 福 島 区 | 6464 | 此 花 区 | 6466 |
| 中 央 区 | 6267 | 西 区   | 6532 | 港 区   | 6576 | 大 正 区 | 4394 |
| 天王寺区  | 6774 | 浪 速 区 | 6647 | 西淀川区  | 6478 | 淀 川 区 | 6308 |
| 東淀川区  | 4809 | 東 成 区 | 6977 | 生 野 区 | 6715 | 旭 区   | 6957 |
| 城 東 区 | 6930 | 鶴 見 区 | 6915 | 阿倍野区  | 6622 | 住之江区  | 6682 |
| 住 吉 区 | 6694 | 東住吉区  | 4399 | 平 野 区 | 4302 | 西 成 区 | 6659 |

その他にも検診を実施しています! 胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診  
 子宮頸がん検診・乳がん検診・歯周病検診

問合せ 大阪市健康局健康づくり課(成人保健) ☎06-6208-9943

## 今月の自助具

### ベルト引き締め瓶オープナー

主な適応疾患・対象者▶

●片手で瓶の蓋を開ける人

機能・特徴▶

●瓶のサイズに関わりなく、片手で蓋を開けることができる。  
 ●置き台はコンパクトで場所を取らない。

使い方▶

●蓋を開けるときには、瓶を置いた後、左のベルトを引っ張ってベルトを瓶に添わせてから、左に押しながら蓋を回すと開く。  
 ●蓋を閉めるには、右のベルトを引っ張ってベルトを瓶に添わせてから、右に押しながら蓋を回すと閉まる。



ベルトの操作  
 蓋を開けるとき 左側を引っ張る  
 蓋を閉めるとき 右側を引っ張る

資料提供・問合せ▶ 特定非営利活動法人 自助具の部屋

☎06-4981-8492 (月・水・金 10:00~15:00)

NPO自助具の部屋ホームページ▶



## 健康生活 応援グッズ

安全・快適な移動を

小柄な人向け  
低床セミモジュール車椅子



●ネクストコア・ミニモ

在宅利用に徹底的にこだわった、「超スリム&コンパクト」「軽量」「超低床」セミモジュール車いす! 小柄な方でもお身体に合わせて、車いすをアジャストできます

安全をカタチにした  
新発想の車いす



●転ばないイス

車いすの転倒事故を徹底研究。「ブレーキレバーの操作忘れ」や「フットレストの上げ忘れ」による転倒を防ぐ新発想の車いす。

お尻が前にズレにくい  
コンパクト車いす



●ぴったりフィット「くるん」

「すきまレスピロー」は大粒のビーズが詰まっている枕で、形を自在に作れて隙間を埋めてフィットできます。在宅でも使いやすいコンパクト設計で、コンパクトに折りたたみ収納もできます。

問合せ

公益社団法人関西シルバーサービス協会 事務局  
 〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54

大阪社会福祉指導センター内

☎06-6762-7895 FAX06-6762-7894

HPhttp://kansil.jp





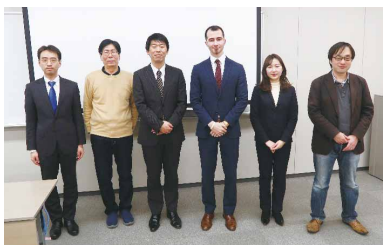
## 講座見聞録……………〈国際セミナー〉

### 生きづらさを抱える若者たち～日英の専門家の対話～

2月23日、日英両国での若者の状況や支援策について学ぶことを目的に、メイン・スピーカーに英国元ユース・エンプロイメントUKのスタッフで、現ジャーナリストのワエル アル アベド氏、京都若者サポートステーション所属の米田光晴氏、司会にNPO法人しゃらくの小嶋新氏をお招きして開催しました。



ワエル氏からは、若者問題は国にとって最大の課題になっており、政府も若者の能力開発を進め広く活用したいとの思いがあること、また、根底には教育システムの欠陥があり、その正をチャリティや社会的企業(※1)に求めている現状が報告されました。就労支援においては、単に学校の成績を上げることが目的とせず、自信をつけることを目的にスポーツやアクティビティなどの社会参加に力点を置いている状況が説明されました。また、『プリンス・トラスト』の事例が紹介され、社会的企業と協賛の公企業・民間企業との連携についての説明が非常に



印象的でした。

米田氏からは、「引きこもり」の問題が深刻化しており、包摂的な公共空間が求められている現状や所属する京都若者サポートステーション

(サポステ)での事業について報告されました。

サポステは、国の若者就労支援施策の経過で生れたものであり、支援内容は、主に「カウンセリング」「居場所」「ボランティア活動の場の提供」となっており、対象は、15歳から39歳で就職への意欲が認められる方で、彼らの中には生活習慣やコミュニケーション能力など複数の課題を抱えた若者が多いこと、また、近年では、女性の利用率が上昇しており、就労経験者の数も増えている状況が説明されました。支援プログラムは、「自己理解」「仕事理解」「就活準備」の3ステップを踏まえており、「キャリアコロ」というサイコロの出た目の話題で会話するといったプログラムが人気であるとのことでした。



両氏の報告を受け、若者支援や就労支援においては、メンター(※2)の役割は大きく、今後も専門家の養成を重視し、支援機関を増やすことが「生きづらさを抱えた若者たち」にとって必要な支援だと強く感じました。

ご協力をいただきましたみなさま、ありがとうございました。

(※1)利益の最大化ではなく、社会課題の解決などの遂行を第1とする事業体

(※2)助言者や相談相手



そつと、さつと、あんしんを

## サービス介助士

2020年4月  
リニューアル

### 無料体験会(講座説明会)のお知らせ

「おもてなしの心」と「介助技術」の普及を目指したこの資格は、おかげさまで多くの支持をいただいております。

～資格取得者数17万人突破～

| ●説明会開催日  | サービス介助士     | 防災介助士       | 認知症介助士 |
|----------|-------------|-------------|--------|
| 4月13日(日) | 15:00～16:00 | 16:00～17:00 | 適宜     |
| 5月18日(日) | 15:00～16:00 | 16:00～17:00 | 適宜     |
| 6月8日(日)  | 15:00～16:00 | 16:00～17:00 | 適宜     |

※日程のご都合が合わない方は、お電話にてお問い合わせください。

説明会では、サービス介助士について詳しくご説明いたします。また、あわせて「防災介助士」「認知症介助士」についても同日に説明いたしますので、個人はもちろん、企業・学校ご担当者様のご参加もお待ちしております。



- ・実技教習は北海道～沖縄にて開催中好きな会場を選択可能!
- ・サービス介助士資格取得が企業のSDGs(持続可能な開発目標)推進に寄与します!

■ご予約お問い合わせは、以下よりお願いいたします



公益財団法人

日本ケアフィット共育機構 大阪事務所

〒542-0083 大阪府大阪市中央区東心斎橋1-7-30

☎06-6251-6101(月～金 9:15～18:15・土日祝休)

サービス介助士 ケアフィット

検索

(広告)

## 第14期市民後見人養成講座 受講事前オリエンテーション

判断能力が十分でない人の権利を守る「成年後見制度」において、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう身近な立場で支援する「市民後見人」を養成するため、社会貢献への意欲と熱意のある市民の方を対象に「市民後見人養成講座」を行います。令和2年6月からの本講座の受講申込みにあたり、事業の趣旨をご理解いただくためオリエンテーションを開催します。

**対象** 大阪市在住または在勤で社会貢献に意欲と熱意のある24歳以上68歳以下の方(令和2年3月31日現在)

※後見人養成研修を実施する団体に所属している方、または親族以外の方の後見人として活動している方は対象となりません

**日時・会場**

**第1回** 5月16日(土) 午後2時～4時

大阪市社会福祉研修・情報センター 4階会議室(西成区)

**第2回** 5月21日(木) 午後6時30分～8時30分

大阪市立住まい情報センター 3階ホール(北区)

**第3回** 5月22日(金) 午後2時～4時

大阪市立住まい情報センター 3階ホール(北区)

**内容** ①成年後見制度の概要と市民後見人の役割  
②市民後見人養成講座の受講について

**定員** 各100名(先着順)定員を超えた場合のみご連絡します。参加費/無料

**申込方法** 住所、氏名、年齢、電話番号、参加希望日(第1・2・3回のいずれか)を記載のうえ、ハガキ・FAXまたはメール(yousei@shakyo-osaka.jp)でお申し込みください。

※締め切りは各日程の2日前。

**申込先** 大阪市成年後見支援センター

〒557-0024 大阪市西成区出城2-5-20

☎06-4392-8282 ☎06-4392-8900

麻野 璃子さん(平成30年度「人権に関する作品募集事業」キャッチコピー 高校生の部 優秀賞)